

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部

「ランドスケープセミナー2025」開催記録

日 時： 令和7年11月14日(金) 15:30～17:30(開場 15:00)
場 所： TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム 9M
出 席： 60名
テ ー マ： 近作を語る～地球温暖化や少子高齢化の時代に求められるランドスケープとは～
講 師： 平賀 達也 氏(ランドスケープアーキテクト/JLAU会長)
主 催： (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会(CLA)中部支部
共 催： (一社)ランドスケープアーキテクト連盟(JLAU)中部

開催目的

本セミナーは、日本を代表するランドスケープアーキテクトであり、JLAU会長を務められる平賀達也氏をお招きし、今日の社会における公共空間の役割と、ランドスケープデザインが果たすべき役割を再考する機会として企画いたしました。

今回初めて(一社)ランドスケープアーキテクト連盟(JLAU)中部との共催が実現しました。また、一般参加者も多数、参加され、コンサルタント、施工者、発注者など、幅広い立場の専門家が一堂に会し、知見を共有する場を提供することができました。

セミナー内容



平賀達也氏によるご講演は、「近作を語る：地球温暖化や少子高齢化の時代に求められるランドスケープとは」として、3つの事例を紹介していました。

<事例>

- ① 低炭素都市 2050 名古屋戦略
- ② 東海国立大学機構 Common Nexus
- ③ 馬場川通りアーバンデザインプロジェクト

講演では、「グローバルな課題をローカルな場所で解決する」という視点のもと、ご講演をいただきました。従来の経済優先のモデルに対し、SDGsの「ウェディングケーキモデル」に示される環境基盤(自然資本)の重要性を強調され、ランドスケープとは、経済・社会・環境の異なる時間軸を理解し、自然界の「事情パターン(フラクタル構造)」のような生命的なエネルギーの流れを都市に取り戻すことであると述べられました。

続く質疑応答では、参加者から、デザインの拠り所やリサーチ方法など、実践的かつ未来志向の質問が多数寄せられ、活発な議論が展開されました。平賀氏からは、一つひとつの質問に対し、豊富な経験に基づく丁寧な回答があり、参加者の学びを深める貴重な時間となりました。

結語

本セミナーは、時宜を得たテーマ設定と、JLAU会長である平賀達也氏の登壇、そしてJLAU中部との初の共催により、大きな反響と成功を収めることができました。この度の成果を糧に、今後も中部地域のランドスケープ分野の発展に貢献する活動を継続してまいります。